

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

358号

2020年12月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

米国大統領選挙と朝鮮半島 ～私達の運命は、私達が決める～

●分断深まる覇権大国

米大統領選挙は大接戦の末、民主党のジョー・バイデン前副大統領が当選を確実にした。11月7日に「分断ではなく、結束を目指す大統領になる」と勝利演説をしたバイデン氏は「辛辣な言葉を脇に置き、熱をさまし、互いに目を見て耳を傾けあおう」とトランプ氏の支持者に呼びかけたが、トランプ氏の支持者はこの演説を見ることはなく、「選挙の不正」を訴え続けていた。前回の約6300万票から約7300万票に大幅に票を増やしたトランプ氏は、「敗北宣言」どころか徹底抗戦の構えを強めている。今回の選挙により米社会の分断と葛藤はより深まり、溝が埋まることはないだろう。衰退しつつある覇権大国は「世界の警察官」を放棄し、

「自国ファースト」の大統領を生み出したが、衰退を止めることはできず、米中新冷戦時代を作りだした。大統領が代わったからといって状況が劇的に改善するわけではない。来年1月末に就任する新大統領は多難な出発となるだろう。

●まずは韓米合同軍事演習の中止から

問題の多い破天荒なトランプ大統領であったが、朝鮮半島問題に関しては貢献度は高い。シンガポールで史上初めて朝鮮の指導者と会い、朝鮮戦争以降の敵対関係を解消し、新しい関係構築と平和のために努力していくことを約束した。金正恩委員長と3回も面談し、ともに板門店の38度線を超え、現役大統領として初めて朝鮮の地にも足を踏み入れた。ハノイ会談以降、進展はみられなかったものの、米国の戦後一貫した対朝鮮敵視政策

の大転換に一石を投じたことは評価に値するだろう。

それでは、バイデン民主党政権は、どのような朝鮮半島政策を打ち出すのか。

10月に開催された朝鮮労働党創建75周年の軍事パレードに登場した巨大なICBMに注目しなければならない。既存の火星-15型よりはるかに大きく、米国のミサイル防衛を制圧できる多弾頭能力を備えていると分析されている。ハノイで朝米が合意していれば「怪物・大陸間弾道ミサイル」が登場することはな

なかった。バイデン氏は、トランプ大統領が一度は約束したものの結局は受け入れられなかった朝鮮の提案「行動対行動による段階的非核化」案を冷静に検討する必要があるだろう。

文在寅大統領は、バイデン氏と電話会談で「堅固な韓米同盟及び平和と繁栄の朝鮮半島に向けた意志」を確認した。「良好な韓米関係」を維持しながら朝米の関係改善を推進し、朝鮮半島の平和プロセスを再稼働させようと活発に動いている。ただ、従来通りの低姿勢では成果は期待できない。「自分がハンドルを握り、米大統領は助手席に座ってもらう」くらいの意気込みで米国と向き合い、来年2月に予定されている韓米合同軍事演習は、絶対に中止しなければならない。

自分の運命を自分で決められなければ奴隷と同じであり、自国の運命を自国で決められなければ植民地と同じである。朝鮮半島の主人は米国ではない。私達の運命は私達が決める。2018年に走りだした統一列車は、2021年に再び走り出すだろう。その主役は私達だ。(隆)



▲バイデン次期大統領



▲トランプ大統領

韓統連大阪本部の一員として

できることを精一杯やりたい！

韓統連大阪本部主催 高愛子さん歓迎会

10月に韓青大阪府本部を卒業して、新たに韓統連大阪本部の会員になった高愛子(コ・エジヤ)さんを招き、韓統連大阪本部主催で「高愛子さん歓迎会」が11月7日(土)、がんこ桃谷店(大阪市天王寺区)で開かれた。

歓迎会では、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表が「高愛子さん、本当に歓迎します。久しぶりに韓青大阪本部の活動家が韓統連大阪本部の会員に入ってくれてうれしいです。これから共に活動していきましょう」と乾杯挨拶を行った。



▲高愛子さんを中心に記念写真

その後、美味しい鍋料理を食べながら、高愛子さんを中心に親睦と交流を深め、参加者から「高愛子さんは料理が得意なので、来年は愛子さんが講師を担い、韓統連大阪本部主催で料理教室を開こう」と提案があるなど大いに盛り上がり、最後に高愛子さんが「韓統連大阪本部に入って、できることを精一杯やりたいと思っています。チャルプタッカゲスムニダ(よろしくお願ひします)」と抱負が語られ、歓迎会は終了した。

朝鮮半島の核問題、文在寅政権が 米国に頼らず、自主的立場の堅持を！

韓統連セミナー「朝米関係と核問題」

韓統連セミナー2020は、シリーズ「統一のための練習問題」の2回目が11月15日(日)、KCC会館(大阪市生野区)で開かれた。

金隆司韓統連大阪本部代表委員の主催者挨拶の

後、金昌範(キム・チャンボム)韓統連大阪本部副代表から「朝米関係と核問題」というタイトルでの報告が行われた。

報告の冒頭では、世界の核兵器開発の歴史に触れ、第2次世界大戦時に米国やドイツなどの参戦国とともに、日本も核兵器開発に動いた史実を指して、「日本政府がそうした歴史に蓋をしたまま“唯一の被爆国”をことさら強調するのは欺瞞だ」と指摘した。



▲報告を行う金昌範副代表

続いて「朝鮮半島の核問題のはじまり」「米国の核戦略の背景—NPT体制とは」「朝鮮の非核・平和への道VS米国の干渉・圧迫」というテーマ順に核問題にまつわる歴史が報告された。その中では、朝鮮が90年代初頭まで、国際社会との間で非核平和に向けた関係づくりに努力したが、米国の核軍事圧力と脅迫がますます強まったがゆえ、やがて自ら核軍事力の保持と強化へと動いた流れが語られた。

報告の終盤では朝鮮半島の非核化への決意を示した「板門店宣言」の履行が、ウリナラ(祖国)の核問題を大きく解決へと向かわしめるものであり、また、その履行を米国が干渉・妨害している事実にも触れたうえで「核問題を含め朝鮮半島問題は、南北の当事者が解決できる主役である」として、とりわけ韓国の役割の重要性が強調された。

報告後は質疑応答が行われ、最後の金昌五(キム・チャノ)韓統連大阪本部副代表委員の閉会挨拶によって、あらためて韓統連セミナーの意義が整理され、セミナーは終了した。

映画を通して在日同胞の歴史と 祖国に対する想いを伝える 映画「光の糸」・「私はチョソンサラムです」 上映会&トークイベント

11月6日(金)、東成区民センター小ホールで、ドキュメンタリー映画「光の糸」と「私はチョソンサラム(朝鮮人)です」の上映会&トークイベントが開かれ、韓統連大阪本部、韓青大阪府本部のメンバーなど、在日同胞と日本人が参加した。

「光の糸」には韓統連のメンバーである黄英治(ファン・ヨンヂ)さんが出演し、「私はチョソンサラムです」には金隆司韓統連大阪本部代表、金昌五副代表、韓青大阪府本部のメンバーが出演している。

特に「私はチョソンサラムです」は、植民地と分断の歴史の中で生きる在日朝鮮人の生きざまと祖国に対する想いが描かれ、映画の中で金昌五副代表が重要な役割を担っている。



▲トークイベントで発言する金昌五副代表

映画上映終了後には「私はチョソンサラムです」を制作した金哲民(キム・ Cholmin)監督、在日韓国良心囚同友会の李哲(イ・ Chol)代表、金昌五副代表3名によるトークイベントが行われ、金昌五副代表は「困難な中で在日朝鮮人がどのように生きてきたかを日本社会だけでなく、祖国の多くの人々にも知ってほしいと思います。素晴らしい映画です」と語り、会場から大きな拍手が送られ、上映会は終了した。

韓日民衆の固い連帯で 東アジアの平和を実現しよう！ 日韓平和連帯主催11・13大阪集会

韓統連大阪本部も参加し、朝鮮半島の自主的平

和統一実現と東アジアの平和実現のために活動している日韓平和連帯の主催で「日韓民衆の力で東アジアに平和を！11・13大阪集会」が11月13日(金)、エルおおさか(大阪市中央区)で開催された。

集会では、日韓平和連帯共同代表の山元一英さんが主催者挨拶を行った後、日本側の発題として、平和フォーラム共同代表の藤本泰成さんが発題を行った。藤本さんは発題の中で「菅政権は安倍前政権と同じように、拉致問題の解決なくして日朝国交正常化はないという立場をとっている。この立場を変えない限り、日朝関係は進まない」と述べるとともに、「韓日の市民運動はしっかりとつながっている。東アジアの平和のために心ひとつにして運動を展開していくことが重要だ」と語った。



▲韓国からリモートで発題を行う韓忠穆常任代表

続いて、韓国側の発題を韓忠穆(ハン・チュンモク)韓国進歩連帯常任代表が行った。今回、韓国からはリモートでの発題となり、通訳を金昌五韓統連大阪本部副代表が行った。発題を通じ韓常任代表は「バイデン新政権は北に先非核化を求めており、北もバイデン政権に敵対感を表している」とし、「今後、来年3月の韓米合同軍事演習を実施するか否かが焦点となってくる」と指摘した。

そして「来年4・27板門店宣言3周年を契機に、朝鮮半島の恒久平和体制の構築のための国際運動を企画している。在日同胞、日本の平和勢力もぜひ参加してほしい」と訴えた。

双方の発題終了後は、活発な質疑応答が行われ、11・13大阪集会は終了した。

【SNSの窓から】

大阪維新の会と私たち

大阪維新の会の旗頭である大阪市廃止案が2度目の敗北を喫したとは言え、今の日本の、そして大阪の政治の影響で在日同胞が困難な状況を強いられている現実は変わっていません。そうした我々の足元を改めて見つめる意味で、去る10月27日に大阪府庁前で行われた「火曜行動」の場における金昌範本部副代表委員の訴えを文字に起こしました(火曜行動の仲間がフェイスブックに投稿したものを使わせて頂きました)。

自主編集委員会

こんにちは。ご苦労さまです。生野からきました。

今日はものすごくいい天気ですが、日本の政治はどん曇りやなと思います。日本の民主主義がおかしくなっていると思います。

菅さんの学術会議6人の任命拒否もそうだし、自民党の女性国会議員が自ら女性に対する差別発言をしてはばからない。またそれを自民党議員が必死で庇っていることもそうです。

司法の在り方、裁判所の在り方もひどい。

広島朝校の無償化裁判の高裁不当判決は朝鮮学校側からの証言はほとんど精査せず、横並びの不当判決を出す。司法の独立が壊されていることは、われわれ朝鮮人に対する差別に直結しています。

大阪の民主主義も危ない。

いわゆる「都構想」、大阪市廃止案に対する住民投票が11月1日に予定されていますが、先日松井市長はテレビで、今「維新の会」が府政・市政を握っているので二重行政を解消することが可能だと言っていました、…ウソですよ！

私は覚えています。平松市長の時に水道行政の府市一本化(に向けた合意)が実現しようとしていたのを橋下知事になって『府(の権限者)が替わったから、ゼロベースだ!』と言ってもとに戻ってしまったんです。橋下知事は自分(たち)の手柄にしたかったんですよ。

大阪が財政的に多少良くなったとすれば、住民サービスをカットして福祉を切った、その結果なのです。(大阪市の)保健所は一か所になりました。コロナの発生で慌てて(口約束で)4

ヶ所に増やすという始末です。電話しても、なかなかつながりません。衛生研究所(=廃止統合・民営化された大阪府衛生研究所のこと)は飛ばされました。(大阪市)人権博物館は潰されました。(大阪市の)こどもの家事業への補助金は廃止されました。そうして福祉と行政サービスをカットして、浮いたお金をカジノに回そうという魂胆です。

大阪都構想とは何なのか。維新の会が大阪全体

の権力を一元化して握る方策でしかありません。このイカサマの一番大きな犠牲者が朝鮮人であり朝鮮学校です。朝鮮学校に通う子ども達であり、朝鮮学校に行きたくても行けなかった子ども達であり、保護者であり、朝鮮学校を支えている先生をはじめ皆さんが一番大きな犠牲者なのです。

われわれは同じように税金を払っています。同じように権利があることが民主主義の基本中の基本です。

われわれは投票権もありません。ほんとにどこに言うたらいいかわからない。こんな思いが、たくさんの人をこの火曜行動に向かわせていると思います。

公務員のみなさん!聞いてください。

大阪の人権も民主主義も段々と悪化してきています。都構想が実現すると、もっと酷くなります。

11月1日「NO」と書いて投票してください。わたし達外国人には投票権はありませんが、日本の皆さんは自分の問題として、大阪市の福祉を、差別解消を一步でも前に進めていくために積極的に「NO」と投票していただきたいと思います



▲火曜行動でピラを配布する金昌範副代表

【投稿】 米国大統領選挙後の朝鮮半島の自主的平和統一運動における 市民運動の役割と展望

-民主平和統一諮問会議の世論調査を中心に-

李 鐵(イ・チヨル)

11月27日付の韓国インターネット新聞「統一ニュース」は「朝鮮半島の平和のためには南北対話チャンネルの復元が優先課題」と題する民主平和統一諮問会議（民主平統）の世論調査結果を発表しました。報道によると、終戦宣言には60%が共感となっています。以下、統一ニュースの記事と民主平統の定期刊行物「政策建議（2020年10月5日）」の内容を参考にしながら、民間統一運動団体の役割と展望について考えてみます。

世論調査結果によると、厳しい南北関係の再稼働のために①南北対話チャンネルの復元（38.2%）、②コロナウイルス防疫など保健医療協力（34.8%）、③食糧支援など人道的協力（11.8%）を最優先課題に挙げています。続いて④文在寅大統領の米国の新政府と朝鮮との関係改善

に関する促進者的役割を果たすことには（73.9%）、⑤トランプ大統領と金正恩委員長との合意の履行を米国新政府が引き継ぐことには（73.9%）、⑥文大統領の提案した終戦宣言が朝鮮半島の非核化に肯定的影響があると答えたのは大いにあるが19.9%、ある程度あるが33.3%で合わせて53.2%が肯定的評価をしました。

朝鮮労働党第7期第20回政治局拡大会議会議（11月15日）で、金正恩委員長は世界的悪性ウイルス感染状況にかんがみ、国家防疫体制の強化のために超緊張状況の堅持と完璧な封鎖障壁の構築を強調しました。医療保健部門の南北協力は緊急課題であり、政府間協力には時間がかかる場合民間団体が代行することも可能です。国連でも保健医療部門の国際協力は制裁を免除する意見も多いです。

民主平統の提言では、4・27板門店宣言と9・19ピョンヤン共同宣言の履行のためのロードマップの早期の作成と、その調整のために米国新政府と朝鮮への特使派遣と水面下の交渉を促しています。特に朝米対話（膠着局面での）と分離して持続可能な南北対話チャンネルの再構築が必要だとしています。特に南北合意のうち「朝鮮への誹謗中傷を内容とするビラ配布禁止」が履行されていない原因の究明を行うことなどを提言し

ています。さらに地方自治団体、民間団体、宗教団体と離散家族再会事業と個人の観光なども提言していますが、注目すべきは朝鮮側のインターネットと「労働新聞」「朝鮮新報」などの媒体へのアクセスを先行して解放することなどがあります。

しかし、韓国政府は南北協力団体への事前監督など

により、選別的許可性への不満が高まっている現状を踏まえて制裁履行機構と平和協力を推進する部署の分離の必要性を指摘しています。また朝鮮社会の正しい理解のための施策として小・中・高・大学など多様な教育機関で「南北和解関連教育」を拡大運用する必要性などを提言しています。韓米ワーキング部会などの装置を駆使して、南北関係発展を阻害してきた米国政府当局と関与に効果的な対抗措置が不足している文在寅政権の管理能力の欠如で、南北関係が超緊張状態におかれている今こそ、民間団体の役割が期待される所です。

韓米日各界各層の市民団体が協力して南北関係の関係発展と朝米関係の改善に知恵を出し合って協力する必要性と、その重要性が高まっています。世界の市民の期待に応えるために頑張りましょう。



▲米国は南北問題に干渉するな！などを訴える
韓国市民団体会員

【書評】 滞空女(たいくうじょ)——屋根の上のモダンガール

パク・ソリョン著・萩原恵美訳
三一書房、2000円+税

タイトルの「滞空女(たいくうじょ)」をしかとつかみ、ピョンヤンの乙密台を背景に青空に浮遊するチマチョゴリの女性。この卓抜な装丁で表出された彼女こそが本書の主人公＝姜(カン)周(ヂュ)龍(リョン)である。

彼女は朝鮮に実在した人。伝記的に要約すれば、1901年に平安北道江界で生まれ、14年に西間島に移住。20歳で5歳年下の崔全斌(チュ・チョンビョン)と結婚。大韓独立団に入団した夫とともに一時活動。夫を残して24歳で帰国。ピョンヤンの平原ゴム工場労働者として働きながらストライキを組織し、スト団代表として乙密台の屋上で朝鮮の労働運動史上初の「高空籠城」を敢行。その後、ピョンヤン赤色労組事件で逮捕され、釈放されたあと病死。享年31、となる。



っての闘いの潔さ。自分の運命を切り開くために、一度戻った家から敢然と旅立つ勇気と決断。

第二部はピョンヤンが舞台。ひとりで生きるなかで時代の「最先端」のモダンガールになろうとするが、本当の時代の最先端である労働運動へとおのずと踏み込んでいく、無意識でありながらも、

真の階級性。それは、インテリ労働運動の指導者との論争では、相手を圧倒しさえする明敏かつ賢明さ。

「餓死同盟」を組織して逃げ場を断つ闘いに踏み出し、ついに「高空籠城」へ。見上げる人びとに訴えかける――。

「あたしたちはもはや命を擲(なげう)つ覚悟で闘っており、あたしもこっから降りる道は死んで降りる道だけだと思っています」

すぐれた文学作品は、そのテーマ

と対象が過去の出来事と人物であったとしても、必ず、〈いま〉この時代に錨をおろしている。なぜなら作家は、この時代の〈いま〉と状況を生き、作品を書いているからだ。今日から見てわかっている結末を、どうなるかわからないという未知の混沌に還元し、さまざまな可能性をはらんでいたはずの過去を、現代に再生して、未来の夢を描く。夢にいきいきと躍動する姜周龍は、まさに希望である。(黄英治)

◆行事案内◆

中村哲さんの意志を受け継ぎ世界の平和をめざそう！
とめよう戦争への道！めざそうアジアの平和！

2021関西のつどい

日時：2021年1月16日(土)午後1時～
場所：エルシアター

京阪・地下鉄天満橋駅下車徒歩7分
内容：藤田千代子さん(ペシャワール会
PMS支援室長)の講演など
資料代：500円
主催：同実行委員会 他 TEL:06-6364-5247

編集後記

今号では、作家活動をしている黄英治さんから書評を送って頂きました。コマッサムニダ(ありがとうございます)。

新型コロナが猛威を振るっています。これからもっと寒くなり、気温が下がり、より感染拡大が増えるのではないのでしょうか？心配です。読者の皆さんも手洗い、マスクの着用など感染予防をしっかりと行ってください。

今年も残り1ヶ月、よい新年が迎えらるよう頑張りましょう。(ソン)

